



FILE 01

“TIERRA”



倉敷市・クライストチャーチ市姉妹都市提携40周年記念事業

倉敷市とクライストチャーチ市は、昨年2013年で姉妹都市提携40周年を迎えました。これを記念してクライストチャーチ市民訪問団、クライストチャーチ大地震の影響で2年間の受入れを見合わせていた学生親善使節の受入、倉敷市からの市民訪問団の派遣を実施し、両市の多くの関係者、市民の皆様とともに周年を祝い、おかげさまで大きな節目を刻むことができました。



○クライストチャーチ市からの訪問団受入:10月11日～10月17日

市民訪問団

姉妹都市委員会会長のデービッド・ポーラムスミス氏を団長とした市民団(サッカー団、陶芸団含む)35人が来倉されました。表敬訪問やマーク・シンクレア大使をお迎えしての記念モニュメント完成式・祝賀会などの公式行事、サッカーフレンドシップマッチ・窯元訪問による陶芸交流などの市民交流事業、市内視察等を通して、姉妹都市の絆をより一層強くしました。



サッカー



プレベルトンサッカーチームが来倉され、10月13～14日にフレンドシップマッチを開催しました。両市の選手やボランティア通訳の方をはじめ、多くの関係者の皆様と40周年記念にふさわしい素晴らしい市民交流ができました。

陶芸



陶芸団の皆様は羽島焼・酒津焼・備前焼などの窯元を訪し、ご自身で作品を作られるなど陶芸交流を楽しまれました。また、倉敷・クライストチャーチ市民交流協会の皆様とも多くの時間を過ごされ、「Heart to Heart」の交流を満喫されました。

○クライストチャーチ市への訪問団派遣:11月16日～11月22日



CH市の皆様の歓待

伊東市長を団長とする51名の市民訪問団及び11名の市議会議員団がクライストチャーチ市を訪問し、リアンヌ・ダルズィール市長をはじめ、姉妹都市委員会など多くの皆様を迎えて頂きました。

伝統のマオリ文化



未来にむかって

震災からの復興とさらなる友好関係の発展を目指して、記念モニュメント、美観地区で使用されている街灯などが設置されました。



マオリの儀式で鼻と鼻を合わせるホンギと呼ばれる歓待も体験することができ、感激でした。





FILE 02

"TIERRA" 海外への派遣事業

○生活体験団

カンザスシティ市訪問団 7月24日～8月9日



クライストチャーチ大地震後初となる今回は、21回目、中学生14名引率者2名での派遣となりました。通学体験やホストファミリーとの交流などを通して、多くのことを学びました。

37回目となる今回は、高校生7名引率者1名を派遣しました。カンザスシティ中部日米協会やホストファミリーの皆様などの協力を得て、大変有意義な数多くの体験をするともにかげがえのない絆を結ぶことができました。



クライストチャーチ市訪問団 7月25日～8月10日



○短期留学生派遣:2月26日～3月18日



倉敷市からサントベルテン市へ学生1名を派遣しました。ホームステイをしながら、学校に通学しました。幼稚園を訪問したり、同じ幼児造形教育を学ぶ現地学生との交流は貴重な体験となりました。





FILE 03

"TIERRA" 海外からの受入事業

○学生親善使節

カンザスシティ 7月12日～8月1日



カンザスシティ市から4人の女子高校生が来倉し、倉敷市内でホームステイをしながら日本文化を体験しました。また、青陵高校ESS部の学生や倉敷カンザスシティ市民交流協会の方々とも交流して、充実した日々を過ごして帰国しました。

クライストチャーチ 10月11日～10月24日



クライストチャーチ市から中学生14名と引率者2名が来倉しました。市内の中学生宅にホームステイをしながら一緒に通学体験したり、日本の生活や文化を体験しました。ホストファミリーや市民の皆様とたくさん触れ合うことができました。



○その他受入

エイボンサイド日本語学習生訪問団受入4月26日～5月1日



クライストチャーチ市から日本語を勉強している女子高校生23人と引率者4人の計27人が来倉されました。

表敬訪問ではクライストチャーチ大地震で被災した学校への支援へのお礼を述べられました。倉敷でのホームステイ、広島へのデイトリップなど、日本の生活を満喫されました。

カシミア高校日本語学習生訪問団受入 12月6日～12月10日

クライストチャーチ市から、日本語を学ぶ14人と引率教諭2人の計16人が来倉されました。今回の受入は倉敷南高校との協働で行われ、12月9日には、同校で英語、日本語、書道、学校紹介など交流授業が行われました。訪問団の皆さんは、ホームステイ、交流授業など学校での行事も含めた倉敷での生活を体験していただきました。



程永華中国大使夫妻受入 11月28日



程永華中華人民共和国駐日本国特命全権大使、汪婉大使夫人が歓迎実行委員会の皆様とともに来倉されました。美観地区・大原美術館を見学された後、伊東市長・大原理事長と歓談されました。地方・市民レベルでの交流の大切さについて伊東市長・程永華大使双方で述べられ、短い時間でしたが、リラックスした雰囲気での歓談となりました。



FILE 04

"TIERRA"

国内事業

○倉敷イングリッシュキャンプ:8月26日~8月27日



25周年のイングリッシュキャンプでは141名の中学生が16チームに分かれて、外国人英語講師34名が企画・担当した7か所のブースを回りました。楽しく英語で競争、英語で交流、英語でDance!できました。



○ふれあい広場:10月20日



当日は生憎の雨模様でしたが、会場には様々な国にルーツを持つ人々が集まり、世界の料理屋台、世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、和文文化体験ワークショップや民族衣装の試着などのプログラムを通して、お互いに交流し、国際理解を深めました。



国際協力・貢献事業

○外貨コイン募金



昨年に引き続き、倉敷市立短期大学と連携して外貨コイン募金事業を行いました。今年は、84か国・約25万円を日本ユニセフ協会へ寄附することができました。今後も継続していきますのでご協力よろしくお願いします。



○OJICAボランティア活動報告会



モンゴル・コスタリカ 6月23日

モンゴルで農業協同組合に日本の農業紹介や経営指導を行ってきた西さんとコスタリカで再生可能エネルギーの啓発・普及に努めてきた佐伯さんの2人が、2年間の活動を通じて感じたことを報告しました。参加者にとってシニア海外ボランティアの様子を知るよい機会となりました。

フィリピンでオーガニック栽培の指導をしてきた中原さんとエクアドルで小学校の算数指導を行ってきた平松さんの2人が、約2年間の活動を通じて感じたことを報告しました。岡山倉敷フィリピーノサークルさんの協力を得て、フィリピン菓子の試食体験もあり参加者に好評でした。



フィリピン・エクアドル 3月9日

【会員募集中】

倉敷市国際交流協会では会員を募集しています。年会費は一口2,000円、法人・団体が一口5,000円です。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をお送りするほか、講座受講料が無料・もしくは割引になるなどの特典があります。国際交流等のテーマに少しでも関心をお持ちの方はぜひ協会にご入会ください。詳細は倉敷市国際交流協会事務局まで。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL:086-426-3015 FAX:086-426-4095
E-Mail:intntnl@city.kurashiki.okayama.jp
URL:http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku/



<団体活動紹介記事募集!!> 法人・団体会員のみなさんへ

当協会紙TIERRAに、団体活動を掲載してみませんか? 掲載ご希望の場合は、事務局までご連絡ください。



環境にやさしい植物油インク
再生紙を使用しています。